

学校の美しい森づくり

1. 自治体名 江原道(東海(トハ)市、華川(ハチョン)郡、襄陽(ヤンヤン)郡)
2. 発表者(所属名) 華川郡看東(カドソ)中学校-鄭藝珍(チョン イェジン)
3. 活動名 野生の花畑作りと観察
4. 活動期間 2004年3月から現在まで
5. 活動場所 学校の森および野生の花畑
6. 活動参加人数 学生-49人、教師-10人、両親
7. 活動を始めた経緯

2004年にガーデニングが大好きな体育教師が赴任してから、本格的に学校の森と野生の花を育てる事になりました。まず、先生の教えに従って全校生が4-H(智徳労体をもとに農村の営農人を育てる)というサークルの会員になりました。

そして自然と人の関係がどんなに大切かということなど、毎日の講義で私たちはだんだんと学校の森の重要性がわかってきました。

それから私達は学校の環境にあう森を作る為に学生が中心となって討論会を開き、先生、両親と共に研究しながら意見交換をし、共に力をあわせて私達が願っていた素晴らしい森を作る事になりました。

8. 発表要旨

(1) 華川(ハチョン)地域および看東(カドソ)中学校の紹介

(2) 活動内容紹介

ア. 木の植え替えと、野生の花畑作り

— 50年前に計画無しにあっちこっちに植えてある木の植え替えをしました。

その結果、ある程度の空間を確保しました。

— 空いた空間に野生の花畑作り

— バラの花を使って学校の生垣作り

イ. 整備された学校の森の活用

— 森と芸術の出会い(ミニ音楽会・写生大会・詩の朗読会や展示会の開催)

— 野生の花の観察

— 付近の住民達の憩いの場所として提供、地域の小学校の自然生態学習場として活用

(3) まとめ

学校の調査によると、学校の森作りが本格的に展開して以来、「中学生の意欲実態調査」で、付近の町の中学校と比較して学校を愛する心が非常に高くあらわれました。

それはまさに、「学校の森作り」を通じて自然に心の中に学校を愛する心が芽生えたのです。